

（記者発表資料）			
年月日	発表部課名	電 話	発表責任者 （役職名）
平成 21 年 9 月 28 日（月）	総務部 新庁舎建設推進室	0796-21-9020 （内線 2521）	丸谷統一郎 （室長）
（件 名） 新庁舎建設に係る現本庁舎の活用方法について			
<p>現本庁舎が新庁舎から独立した建物となるため、新庁舎建設に係る基本設計を進めていく上で、まず、現本庁舎の活用方法を定める必要がある。</p> <p>そこで、機能面、費用面及び財源面の3つの観点から、防災機能、議会機能、交流機能の3つを軸に検討を進めた結果、本会議場として活用する案が適切であると考えている旨、市議会9月定例会において説明した。</p> <p>このことを受けた本会議での議論、庁舎建設調査特別委員会での議論や同委員会の調査報告書などを十分に踏まえ、下記のとおり現本庁舎を活用することで基本設計を進めることとした。</p> <p>今後は、庁舎建設調査特別委員会から提出された調査報告書で指摘いただいた留意事項等について、十分心して進めたい。</p> <p>なお、市民の皆様に対しては、11月末に具体的なイメージができた段階で、市民説明会の開催等により理解を得ていきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 現本庁舎の具体的な活用方法</p> <p style="padding-left: 2em;">1 階部分：交流機能（イベント・会議等に利用するスペース）</p> <p style="padding-left: 2em;">庁舎建設とは別枠の合併特例債の活用が可能と考えられ、財政的に有利である。また、設置を予定している前庭と合わせて活用することで、さらに交流機能の強化を図ることができる。</p> <p style="padding-left: 2em;">2 階部分：議会機能（本会議場）</p> <p style="padding-left: 2em;">議会の独立性を重んじた上で、市民の代表者が議論を戦わせる場としては、重厚さと風格を備えた現本庁舎が相応しい。特に、現本庁舎の2階部分については、元々旧豊岡町の議場として設計・使用されていたものであり、建築当初の内装に復元し必要な装飾を加えた上で、「豊岡市政の歴史を刻む場」として、議場とすることが相応しいと考える。</p> <p>2 現本庁舎の活用のイメージ</p> <p style="padding-left: 2em;">本会議場のイメージ図（別紙のとおり）</p> <p>3 設計に関する主なスケジュール（別紙のとおり）</p>			